

発生日	国名(地域名)	種別	概要
2025年 4月4日	コンゴ 民主共和国	地すべり	4日から11日にかけて、首都キンシャサ (Kinshasa) の13市町村で発生した洪水、ンジリ (Ndjili) 川の氾濫、地すべりにより、広範囲におよぶ被害が発生。国際赤十字・赤新月社連盟 (IFRC) は、13日時点で、首都キンシャサ全域で165人の死者、28人の負傷者、7,000人以上の避難民等、合計6万人以上の被災を発表した。 GLIDE Number: FL-2025-000050-COD
5月15日	インドネシア	土石流 地すべり	豪雨による土石流と地すべりが、インドネシアの西パプア州ブグマンガン・アルファク (Pegunungan Arfak) 県カトゥボウ (Catubouw) 地区を襲い、10人が死亡、10人が行方不明、4人が重傷を負ったと、救助隊員が報じた。災害は5月15日の夜に発生したが、通信アクセスが不十分だったため、救助隊事務所は数日後に情報を受け取った。
5月22日	中国	土砂崩れ	中国内陸部の貴州省大方 (Dafang) 県の山間部で22日、大雨の影響で大規模な土砂崩れが相次ぎ、4人が死亡、17人が行方不明となった。現地では、山の斜面が広い範囲にわたって崩れ、大量の土砂による道路の寸断が確認された。
5月31日	インド	土石流 地すべり	インド北東部に降り続いたモンスーンの豪雨により、地すべりと土石流が発生し、アッサム (Assam) 州、ミゾラム (Mizoram) 州、アルナーチャル・プラデーシュ (Arunachal Pradesh) 州、マニプール (Manipur) 州、トリプラ (Tripura) 州、シッキム (Sikkim) 州で、34人の死亡が確認されたとアッサム州当局が5月31日明らかにした。アッサム州の州都グワハティ (Guwahati) では31日、土砂崩れで民家が押し流され5人が死亡した。また、ヒマラヤのシッキム州では1,000人以上の観光客が6月1日まで足止めを余儀なくされた。
6月1日	中国	土砂崩れ	中国西藏自治区 (Xizang Autonomous Region) 昌都 (Chamdo) 市、丁青 (Dingqing) 県、木塔郷 (Muta Xiang) の冬虫夏草採取拠点で、1日午後9時半ごろ土砂崩れが発生し、3人が死亡、7人が行方不明となったと緊急災害救援指揮部 (対策本部) が3日に明らかにした。
6月15日	コンゴ 民主共和国	地すべり	コンゴ民主共和国の首都キンシャサ (Kinshasa) で、14日から15日にかけての豪雨により、洪水と地すべりが発生し、少なくとも29人が死亡したと内務省が発表した。同国では通常乾季に当たる6月にもかかわらず、記録的な豪雨に見舞われた。 GLIDE Number: FL-2025-000096-COD
6月19日	コンゴ 民主共和国	土砂崩れ	6月19日、コンゴ民主共和国の北キブ (North Kivu) 州マシシ (Masisi) 地域ルバヤ (Rubaya) で発生したコルタン (coltan) 鉱山の崩壊により、少なくとも21人の死亡が確認されたと、翌20日に地元当局が報じた。また、マシシ行政官事務所は、さらに多くの人が鉱山の中に取り残されている疑いがあると述べた。同国の鉱業部門は大部分が非公式のまま継続的に稼働しており、安全規制が最低限か、施行されていないとのこと。
6月24日	コロンビア	地すべり	24日朝、コロンビア北西部アンティオキア (Antioquia) 県の県都メデジン (Medellin) 市に隣接するベヨ (Bello) 市グラニザル (Granizal) 地区のアルトス・デ・オリエンテ (Altos de Oriente) とマナンティアレス (Manantiales) で、降り続いた豪雨による大規模な地すべりが発生した。政府当局は、この災害による25人の死亡を確認したと報じた。
6月28日	パキスタン	土石流	雨季に突入したパキスタンで、豪雨に伴う土石流により、子ども16人を含む32人が死亡したと国家防災庁 (NDMA) が28日に発表した。カイバル・パクトウンクワ (Khyber Pakhtunkhwa) 州では、土石流や屋根の崩落で、子ども8人を含む19人が死亡した。 GLIDE Number: FL-2025-000100-PAK
7月8日	ネパール 中国	土石流	8日午前5時ごろ、中国とネパールの国境のラスワガディ (Rasuwagadhi) 国境検問所付近で土石流が発生し、ネパール側では、少なくとも9人が死亡、19人が行方不明となった。また、中国国営メディアは、ネパールと国境を接する中国側のチベット自治区で、工事現場の作業員ら11人と連絡が取れなくなったと報じた。24時間以内に域内での豪雨の記録がないことから、チベットの氷河湖の氾濫によって洪水が起きたとみなされた。
7月21日	パキスタン	地すべり	22日、パキスタン北部のギルギット・バルティスタン (Gilgit-Baltistan) 州ディアメル (Diamer) 地区で、21日にモンスーンによる豪雨に伴う地すべりが発生し、地元警察によると8台以上の車両が巻き込まれ、7人の死亡と11人の行方不明が確認された。州政府は8月4日、行方不明になっている11人の捜索を打ち切ったことを明らかにした。国家防災庁 (NDMA) は6月26日以降、大雨に関連する災害で300人以上が死亡、数百人が負傷したと報じた。
7月28日	中国	地すべり	中国国営中央テレビ (CCTV) は28日、異常な豪雨の影響で地すべりが発生し、北部の河北省承德 (Chengde) 市近郊の村で、4人が死亡、8人が行方不明になったと報じた。

発生日	国名(地域名)	種別	概要
8月5日	インド	土石流	8月5日午後、インド北部のヒマラヤ地方で、集中豪雨によって引き起こされた土石流が、キールガンガ (Kheer Ganga) 川を襲った後、ウッタラーカンド (Uttarakhand) 州ウツタルカシ (Uttarkashi) 地区で少なくとも10人の死亡と、100人以上の行方不明者を出した。土石流は海拔8,600フィートに位置するダラリ (Dharali) 町を襲い、ホテル、ゲストハウス等少なくとも25の施設が完全に破壊された。
8月8日	中国	土石流	中国国営の新華社通信によると、内陸部・甘肅省蘭州 (Lanzhou) 榆中 (Yuzhong) 県では地元当局が緊急警報を発令する中、7日からの豪雨の影響で土石流が発生し、現地時間の9日夜までに15人の死亡と、28人の行方不明が確認された。
8月11日	カーボベルデ	土石流	11日の豪雨の後、北部バルラヴェント (Barlovento) 諸島のサン・ピセンテ (São Vicente) 島、サント・アンタン (Santo Antão) 島、サン・ニコラウ (São Nicolau) 島で土石流が発生し、9人が死亡、3人が行方不明、1,500人が避難を余儀なくされた。政府は被災した自治体全域に非常事態を宣言し、国連に正式に支援を要請した。 GLIDE Number:FL-2025-000147-CPV
8月14日	インド	土石流	14日、インド北部ジャンムー・カシミール (Jammu & Kashmir) 連邦直轄領の、ヒンドゥー教の巡礼ルートにあるキシュトワール (Kishtwar) 地区チョシティ (Chositi) で、クラウドバーストの豪雨による土石流が巡礼者を襲い、60人が死亡、およそ100人が負傷した。更に200人が行方不明になっているという情報もあり、死者がさらに増える恐れがあるとJ&K当局は報じた。
8月15日	パキスタン	土石流	パキスタンの国家防災庁 (NDMA) は、同国北部山岳地帯のカイバル・パクトゥンクワ (Khyber Pakhtunkhwa) 州が、8月15日にモンスーンのクラウドバースト豪雨による地すべりと土石流に襲われ、少なくとも344人が死亡、負傷者も137人に上ると16日に発表した。 GLIDE Number:FL-2025-000139-PAK
8月16日	中国	土石流	中国北部の内モン自治区 (Inner Mongolia Autonomous) バヤンノール市 (Bayannur City) ウラド後旗 (Urad Rear Banner) オーイン・ゴル・ソム (烏蓋蘇木) の東烏蓋溝で、16日午後10時ごろ土石流が発生し、野外でキャンプをしていた13人が行方不明になった。その後17日午後9時までに、行方不明者10人の死亡、1人の救助が確認されたが、2人は依然行方不明とのこと。
8月20日	ギニア	地すべり	20日の午後7時ごろ、ギニアの首都コナクリ (Conakry) から50km離れたコヤ (Coyah) 県の山岳部マネア (Maneah) で、山の一部が崩れ地すべりが発生し、少なくとも11人が死亡、10人が重傷を負ったと当局は21日に発表した。
8月26日	インド	地すべり	26日午後3時ごろ、ジャンムー・カシミール (Jammu & Kashmir) 州レアシ (Reasi) 地区のカトラ (Katra) にあるヴァイシュノ・デヴィ (Vaishno Devi) 寺院までの12kmの参道で、大雨により大規模な地すべりが発生し、32人が死亡、20人が負傷したと政府当局が27日に発表した。
8月31日	スーダン	地すべり	31日午後1時ごろ、スーダンの中部ダルフル (Darfur) 州と南ダルフル州の州境にあるシャルグ・アジ・ジャバル (Sharg Aj Jabal) 地区ジェベル・マラ (Jebel Marra) 山脈のタルシン (Tarsin) 村で、数日間の大雨による大規模な地すべりが発生し、1,000人以上が死亡、村は跡形もなく破壊されたと、当該地域を支配する反政府勢力「スーダン解放運動/軍 (SLM/A-AW)」が9月1日に報じた。一方、国連スーダン人道調整官は2日、死者は300~1,000人と推定されると発表した。当該地域には、スーダン国軍と準軍事組織「即応支援部隊 (RSF)」の戦闘から逃れた人々が避難していた。
9月10日	インドネシア	土石流 地すべり	インドネシア国家防災庁 (BNPB) は11日、豪雨に伴う土石流と地すべりが、バリ州と東ヌサトゥンガラ州を襲い、少なくとも14人が死亡、6人が行方不明になり、約600人が影響を受けたと報じた。さらに9日の夜と10日の2日間にわたる豪雨により、バリ島では州都デンパサール (Denpasar) を含むジュンブラナ (Jembrana)、ギャニャール (Gianyar)、バドゥン (Badung) 地区で泥、岩、木々が山腹の集落になだれ込み、川の増水により少なくとも120の地区が水没し、数か所で十数件の地すべりが発生したと述べた。 GLIDE Number:FL-2025-000161-IDN
9月15日	マレーシア	地すべり	国際赤十字・赤新月社連盟 (IFRC) とASEAN災害情報ネットワーク (ADINet) は13日からの豪雨により、15日マレーシアのサバ (Sabah) 州で地すべりが発生したと19日に報じた。州都コタキナバル (Kota Kinabalu) 郊外の集落での8人を含む少なくとも13人の死亡が確認された。 GLIDE Number:LS-2025-000165-MYS
9月23日	台湾	天然ダム 土石流	台湾東部の花蓮 (Hualien) 県、万榮 (Wanrong) 郷、馬太鞍 (Mataian) 溪で、台風18号 (アジア名:ラガサ (Ragasa)) に伴う豪雨により、23日天然ダムが決壊し、花蓮県光復 (Guangfu) 郷の市街地に流れ込んだ。中央災害対応センターは30日、18人が死亡、6人が行方不明と発表した。天然ダムは、2024年4月に花蓮一帯で起きた地震による地すべりに加え、2025年7月の台風によって形成され、台風18号の大雨により溢水し、土砂とともに下流の地域を襲った。

GLIDE Number (GLobal unique disaster IDentifier Number) : 世界共通番号